

# 戦略態勢の優越と其の成果

(昭和十七年三月號)

參謀本部支那事變史編纂部

0521

## 序

本觀察は主として今次支那事變に於ける戦略態勢の優越と其の成果に就て之を研究せるものなり。

本觀察の參考たるべき主要なる戰例は昭和十七年一月參謀

本部編纂支那事變史叢書第六號に掲載せられあり。

尙本觀察は當部職員一部の作業にして當部の意見を代表するものにあらず。

## 一 戦略態勢の優越と殲滅戰

會戰の初頭或は其の經過中豫て企圖計畫せる戦略態勢の優越を占めたる軍は、爾後の作戰指導を自主暢達にし敵をして受動萎縮に陥らしめ我が準備せる戦力を最大限に發揮するを

戦略態勢の優越と其の成果

得て赫々たる戰勝を獲得せること既往、現時幾多戰例の示す所なり。

今次事變に於て我が軍は有利なる戦略態勢の作爲に成功して作戰を實施せる場合多きも其の戰果に於ては十分ならざるものあるが如し、これ彼我兵力異常の懸隔、地形、支那軍の作戰思想等特殊事情の存在せるものあるも、元來戰略態勢の優越は敵を不利の態勢に陥れて殲滅的打撃を與ふるにあらずれば其の本來の目的を逸したるものと云ふを得べし。

## 二 戦略態勢の優越を發揮する爲の計畫、準備

態勢の優越を望むは其の形態にあらずして之を擴充して敵軍を殲滅するに在ること既述の如し、之が爲作戰の發動に方

二五

りては透徹せる計畫と企圖完遂の爲の十分なる準備の必要なるや勿論にして、今次事變に於て圖上態勢極めて優越にして而も戦果の之に伴はざりしものは一般に終局に於ける徹底的戦果獲得の爲の準備に關する考慮十分ならざるに因るものと認めらるゝものあり。

漫然たる戦機捕捉の觀念と、敵を輕視せる爲生起せる優越感とに依り動もすれば躁急なる作戦指導を行ひ易き戦場心理に就ては指揮官は反省修養の要あるべし。

態勢の優越を擴充せんとせば作戦の進展に伴ひ緊要時に於ける戦力の發揮と行動の迅速とは必須の條件にして、之が爲戦力の保持、機動力の附與並に航空、機甲部隊等の適切なる運用は特に考慮すべき要件なりとす。

戦例に徴するに、過少なる戦力を以て形式的優越を占むるも敵軍殲滅の見地よりして何等の意義なく、今次事變の實績に鑑みるに戦果獲得の最も緊要時に於て兵力、資材或は補給の不十分に依り戦果を減少し、又は態勢極めて有利なるにも拘らず機動力不十分の爲敵軍捕捉の好機を逸したるものあるが如し。

此等は主として我が企圖遂行の爲の作戦準備の不適當なり

しに胚胎するものにして、將來其の完璧を期するは勿論なるも、状況上希望の準備を爲し得ざる場合に於ては事前に於て至當に我が戦力を檢討し、止むを得ざれば作戦構想の一部を縮小するも一度占め得たる態勢の優越は必ず之を擴充して完全に其の成果を獲得する如く作戦すること肝要なり。

### 三 戦略態勢の優越を發揮する爲の作戦指導

戦略態勢の優越を發揮せんとせば作戦指導の一貫性特に肝要にして、指揮系統を異にする兵團の協同して一會戦を實施せる場合に於て動もすれば遺憾の點の發生し易きは諸戦例の示すが如し。

惟ふに高級指揮官としては確立せる一途の方針の下に會戦を指導し、各方面戦力の緊密なる有機的一體化を圖ると共に其の推移に伴ひ機を失せず豫て企圖準備せる兵力轉用、時として兵力重點の移動を決行する等状況の變轉に應ずる輕快且弾力性に富む積極的の作戦指導を必要とす、蓋し軍隊の編制、裝備の進歩改善に伴ひ之が可能性は現今著しく増大せること明かにして、特に快速部隊及航空部隊の運用に方り此の著意

極めて肝要なり。

尙態勢の優越を發揮せんが爲には、高級指揮官は其の部署に於て敵軍の主要退却路等遠く敵の側背に行動せしむべき部隊の兵力を勉めて有力ならしむるの著意を緊要とす、之を今次事變の戦例に徴するに兵力不十分なるが爲に極めて有利なる地點に進出せるに拘らず、遂に企圖せる戦果を收め得ず或は目的地に進出するに先だち空しく一部の敵に阻止せられ遂に好機を逸せしことあり。

又作戦指導を適切ならしむる爲、常に全般の状況を明かにするの必要なるは勿論なるも、下級兵團をして一般の態勢に通曉せしむるは全局の戦略的企圖遂行に寄與せしむる所以なるを以て、上級司令部は情報の収集に不斷積極的努力を傾注し機を失せず之を下級兵團に通報すること特に緊要なり。

#### 四 戦略態勢の優越を發揮する 爲の第一線兵團の行動

戦例に徴するに會戰の爲高級指揮官の計畫、準備並に爾後の作戦指導等如何に周到適切なるも各局部の作戦を擔任すべき第一線兵團の行動適切を缺き遂に敵主力殲滅の機を失する

戦略態勢の優越と其の成果

の因を成せし場合なしとせず、各兵團長以下各級指揮官が全般的考慮少くして局部の成果を收むるに焦慮し或は所謂「一番乗りの功名」に類する小乘的要地爭奪に執著して大局の著意を等閑に附するときは高級指揮官の抱懐する大局の企圖達成を妨げ、延いて全局に於ける戦略態勢の優越を益々擴充強化すること、に依り始めて求め得べき喬舟の魚を空しく逸し去るに至るべし、故に第一線兵團としては常に戦局全般の推移に稽へ其の部局に於て收め得たる戦果を機を失せず擴充し以て高級指揮官の企圖達成に全幅の努力を傾注せざるべからず。

又戦略態勢我に有利なる時は敵軍退却の虞最も大なるを慮り各、當面の敵に對し果敢なる攻撃を續行すると共に一面有ゆる手段を盡くし且機微なる徴候にも深く留意し以て敵軍退却の企圖を速かに看破し之に乗ずること極めて肝要なり。

尙有利なる戦略態勢の實效を收めんが爲には各局部に於ては或は寡弱なる兵力を以て極めて優勢なる敵を牽制拘束せんが爲、敢然攻勢を執り或は有ゆる困苦缺乏多大の損害を意とせず永く一地を固守し或は不眠不休連日長途の急速なる機動を决行し、或は優勢なる敵の重圍を突破して一意敵の主要交通線分斷、要地占領の任務に向ひ邁進する等全軍の爲深く玉

二七

0523

碎するの高度の犠牲的精神を發揮すること極めて緊要なり。

## 五 戰略態勢と企圖秘匿

戰略態勢の優越は我が軍各方面相關聯して綜合威力を發揮し得る時期に至る迄は有爲の敵に對しては危險を包藏し、又退避を常とする敵に對しては其の主力を逸するの不利あり。

之が爲、我が企圖特に會戰發動の時機、兵力部署、重點指向の方面等を某時機迄敵に秘匿し以て敵の意表に出づることは退避を常とする敵軍に對し必要なるのみならず將來戰に於て有爲の敵に對しては特に緊要なるを痛感す、蓋し之に依り優越なる戰略態勢克く其の實效を發揮し得べく、果敢神速なる行動等と相俟つて益、我が主動の地位を確保し敵をして對應の迫なからしむるの結果を馴致し以て能く敵戦力撃滅の目的を達成し得べければなり、然るに現代戰に於ては我が企圖秘匿をして益、困難ならしむべき幾多の條件を加へたるを以て眞に其の目的を達成せんが爲には高級指揮官以下一兵に至る迄廣範圍に互り最善の努力と周到なる注意とを傾倒せざるべからず、尙陽動其の他、戰場に於ける宣傳、謀略等敵を欺騙すべき積極的手段をも併用するの著意を肝要とす。

## 六 結 言

二八

戰略態勢の優越は快勝を博するの基礎配置にして或は會戰の初頭より或は其の經過中、豫て計畫準備せる所に基き我が企圖する方面に於て優位を占むることの緊要なるは架説の要なきも、將來戰に於ける豫想敵國軍の物質的戦力及現代兵器と戰場の實相等に想到するときは、我が企圖する戰略態勢を完成せんとすること或は敵の不利なる戰略態勢に乗することは必ずしも今次事變の如く容易ならず、動もすれば敵は我が戰略態勢完成の過程に於て或は其の完成後に於て彼我態勢の優劣を轉換せしめんと企圖することあるべく、作戦上深く考慮を要するものあり。又一見有利なる態勢も之を擴充し敵を撃滅するにあらざれば意義なきことは縷説せし所なるも、戦史の研究に徹底せざるに於ては教育、訓練は動もすれば形式的となり易く、又興味多き形態の研究に密にして實行手段の研究に疎となるは陥り易き弊害なることを銘心し注意する所なかるべからず。

今次事變に於ては戰略態勢の研究に關する幾多貴重なる戦例少からず、吾人は其の實績に深刻なる検討を加へ以て指揮統帥に或は教育訓練に資すること肝要なりと認む。

0524